

登録コード	HB190500	開講年度	2026				
授業題目	分子生理学特論				担当教員	米倉 真一 他	
英文授業名	Advanced Molecular Physiology				副担当	富岡 郁夫・諸白 家奈子・小西 博昭	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	博士 1～2年
				授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)		
	2026HB3年制加, 2025HB3年制加, 2024HB3年制加, 2023HB3年制加						
	【専攻】医学と理工学の融合領域の専門分野における深い知識・卓越した技能				動物生理学分野の近年の研究動向を理解し、自身の研究の推進に活かすことができる。		
(2)詳細 /Detailed information	生命科学を基盤とした革新的な食料生産技術体系を確立するための理論の構築と技術の発展を目標に掲げ、的確な総合科学的思考力や創造性を身につけた高度専門職業人や技術者・研究者を育成するために、動物生理学分野が貢献してきた数々の業績とそれによりもたらされた動物生産技術の発展について考察する。						
(3)授業の概要 /Overview of course	動物生産に関与する、種々の生命現象について、個体・細胞・遺伝子レベルにおける最新の知見を紹介する。						
(4)授業計画 /Course plan	1-2回．導入 3-5回．動物生産と生理学 4-8回．最新の技術開発 9-10回．論文紹介－1 10-11回．論文紹介－2 12-15回．フリーディスカッション						
(5)成績評価の方法 /Grading/evaluation method	受講態度とレポート課題により評価する。 Class Attendance and performance: 50% Final Report: 50% 90-100点：秀（S）/90-100 points: S（excellent） 80- 89点：優（A）/80-89 points: A（very good） 70- 79点：良（B）/80-89 points: B（good） 60- 69点：可（C）/80-89 points: C（pass）						
(6)成績評価の基準 /Grading/evaluation criteria	出席とレポート課題により評価する。 Class Attendance and performance: 50% Final Report: 50% 90-100点：秀（S）/90-100 points: S（excellent） 80- 89点：優（A）/80-89 points: A（very good） 70- 79点：良（B）/80-89 points: B（good） 60- 69点：可（C）/80-89 points: C（pass）						
(7)履修上の注意 ・事前事後学習 の内容/Notes	なし。						
(8)質問,相談への 対応/Questions and requests for advice	居室: C310 電話: 0265-77-1443 E-mail : yonekura@shinshu-u.ac.jp						
(9)授業の形式 /Course format	討論を含む双方向形式						
【教科書 /Textbook(s)】	指定なし。						
【参考書 /Reference work(s)】	指定なし。						